

平成18年度 病害虫発生予察情報

発生予報第10号（10月）

平成18年10月2日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	やや多い
野菜	キャベツ	黒腐病	やや少ない
		菌核病	平年並
	アブラナ科野菜	アオムシ	やや多い
		コナガ	平年並
		ハスモンヨトウ	やや少ない

中国地方1か月予報（9月30日～10月29日・広島地方気象台9月29日発表）
向こう1か月の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みの見込みです。

A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方

県下カキ栽培地帯

発生量

やや多い

予報の根拠

- ① 予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は平年並みである。
- ② 9月下旬の巡回調査での被害果率は8.0%（平年5.5%）とやや多い。
- ③ 10月の気象は、気温は平年並みか高く、降水量は平年並みと予想されており、本種の発生を抑制する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方

県下全域

発生量

やや少ない

予報の根拠

- ① 9月下旬の調査では発生量は平年に比べてやや少ない。
- ② 10月の気象は、気温は平年並みか高く、降水量は平年並みと予想されており、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方

県下全域

発生量

平年並

予報の根拠

- ① 9月下旬の調査では発生量は平年並みである。
- ② 10月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) アオムシ

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 9月下旬の調査では、キャベツでの卵・幼虫・蛹発生圃場率は16.7% (平年7.8%)、寄生株率は5% (平年0.6%) で発生量はやや多い。
- ② 10月の気象は、気温は平年並みか高く、降水量は平年並みと予想されており、本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

(2) コナガ

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 9月下旬の調査では、キャベツでの卵・幼虫・蛹発生圃場率は33.3% (平年24.2%)、寄生株率は6.7% (平年6.2%) で発生量はほぼ平年並みである。
- ② 10月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(3) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① フェロモントラップによる7月から現在までの雄成虫累積誘殺数は出雲市で1320頭(平年1770.5頭)と平年に比べてやや少なく、益田市で1323頭(平年2979.5頭)と少ない。
- ② 9月下旬の調査では、キャベツでの卵塊・幼虫発生圃場率は33.3% (平年58.9%)、寄生株率は3.3% (平年10.9%) で発生量はやや少ない
- ③ 10月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所
(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ)
〒693-0035 出雲市芦渡町2440
TEL: 0853-22-6772
FAX: 0853-24-3342
ホームページアドレス <http://www.jpnpn.ne.jp/shimane/>